

市民のチカラ

市内で活躍する
さまざまな団体をご紹介します

武蔵野市

観光ボランティアガイドの会



左から湯川さん、山岡さん、西谷さん、味藤さん。写真下は活動の様子。

お客さまを驚きや感動に導き、地域の活性化を支える『まちの案内人』

ボランティアガイドとして観光客に市の魅力を紹介・案内する「武蔵野市観光ボランティアガイドの会」は、「武蔵野市観光機構」によって平成25（2013）年に発足しました。現在の会長を務める

味藤圭司さん、副会長の湯川純一さんは、定年退職を迎えるタイミングで『武蔵野市観光ボランティアガイド養成講座』の募集を目にしたのが応募のきっかけとなったそうです。「自分が住む地域に愛着はありながらも、まちの歴史や魅力については理解しきれていないと感じていました。養成講座は市を深く知るチャンスだと思い、応募しました」と話してくれました。

インとアシスタントの2名がガイド役となり、さらに受け付けや緊急時のサポート役なども加えた8名前後でお客さまの対応を行っています。

「会の立ち上げ当時は『井の頭公園と吉祥寺散策』の1コースのみでしたが、現在は10コース以上あります。ここまが増やすことができたのは、ガイドの皆さんの協力があつてこそ。私たちは、市内を案内するだけでなく、月1回の定例会や年に数回の研修会を行い、意見も出し合っています。その結果、既存のコースがより散策しやすい内容に改善され、新たなコースづくりにもつながったのだと思います」と味藤さん。魅力的なコースが増えたことで定期ツアーにはリピーターがつき、貸切ツアーの団体依頼にも対応できるようになりました。

現在、会には、養成講座を経てガイド認定を受けた30名がボランティアガイドとして所属しています。主な活動は毎月1回開催される（8月を除く）「むさしのまち歩き」と題した市内散策ツアーのガイドです。月替わりでテーマを設け散策案内を行うツアーでは、メ

「お客さまの喜ぶ姿を見ると私たちもうれしいですし、もっと楽しませたいという意欲が湧くんです」とメンバーの西谷久美子さん。「まちの案内人」の活躍があることで市内外の方々にまちの魅力が伝わり、それが地域の活性化にも大きく役立っているようです。

武蔵野市観光ボランティアガイドの会

2012年、武蔵野市観光機構主催の「観光ボランティアガイド養成講座」が初開講。全5回の講座を経て、ガイド認定を受けた30名が2013年4月より「武蔵野市観光ボランティアガイドの会」メンバーとして活動をスタート。定期開催「むさしのまち歩き」のほか、貸切ツアーにも対応。詳細・お問い合わせは武蔵野市観光機構まで。

(TEL: 0422-23-5900 / 受付: 午前9時～午後6時)



武蔵野市観光ボランティアガイドの皆さん。40代前半から90歳まで幅広い年代が活躍し、所属メンバーの半数以上が女性というのは全国でも珍しい。「若い世代の方にもどんどん参加してほしいと思います」と山岡さん。